

No.2

| | | | |
|-------|---|-------|-----|
| 領域： | ビジネス、グローバル | | |
| テーマ： | 会計情報を用いた企業分析 | | |
| 担当者名： | 伊藤 健顕 | | |
| 開講時期： | 前期：月曜 4・5・6限 | 募集定員： | 30名 |
| 内容： | 会計情報を活用した、財務会計の視点からの企業分析について学習します。基本的には経営学入門Ⅱの財務会計パートで学習したことの発展的な内容です。 | | |
| 到達目標： | 企業・ビジネスに興味を持てるようになること。 ある業界・企業を対象とした企業分析がスムーズに行えるようになること。 | | |
| 講義方法： | 講義も少し行いますが、基本的にはこちらが用意した題材についての個人ワークもしくはグループワークが中心です。成果物としてはレポートやプレゼンテーションでの発表を予定しています。また、実務家や研究者をゲストスピーカーとして招くこともあります。 | | |
| 準備学習： | 特になし。 | | |
| 成績評価： | 授業への積極参加，出席，提出物の質で判断。最終レポートを課す予定。 | | |
| 欠席基準： | 授業実施回数の3分の1（端数は切り捨て）以上を欠席した場合は，単位を修得することができません。（「欠席」評価となります。） | | |
| 講義構成： | 前半部分：日本語テキストを使った個人ワーク/グループワーク 後半部分：日本語/英語文献を使ったグループワーク | | |
| 履修条件： | 特になし。 | | |
| 推奨科目： | 経営戦略の手法Ⅰ（伊藤） | | |
| 選考方法： | 募集定員を超えた場合は抽選とします。 | | |
| 備考： | <p>企業に興味のある学生を歓迎します。</p> <p>テキストは日本語だけではなく英語の文献も活用しますので，英語が苦手な人，不得意な人は覚悟をしてください。苦手でもチャレンジしたい，という人はもちろん大歓迎です。ただし，やる気の無い学生，単位が欲しいだけの人は歓迎しません。</p> <p>また「教えてもらうこと」が勉強することだと思っている人は即刻考えを改めてください。プロジェクトでは教えることは最小限にとどめ「自ら学ぶこと」を積極的に実践してもらいます。</p> <p>テキスト（予定）</p> <p>村上裕太郎『なぜ、会計嫌いのあいつが会社の数字に強くなった？』東洋経済新報社，2016年7月。</p> | | |
| 説明会： | 何か質問がある場合は個別に対応します。 | | |